

呑川本流緑道桜再生実行計画 第一回検討会ニュースレター

目黒区内の公園・緑道・道路緑地等には約 2,300 本の桜がありますが、老齢化などにより、保全・更新の取組みが必要となっていることから、目黒区では平成 27 年度から目黒の桜保全事業を行っています。今年度は、呑川本流緑道の桜の再生実行計画を作成するため、平成 30 年 9 月 11 日(火)に、中根一丁目会議室において、第一回検討会を開催しました。

目黒の桜保全事業の流れ

樹木診断

樹木医による樹木診断を行い、現状の桜をとりまく問題点等を確認します。

再生計画作成

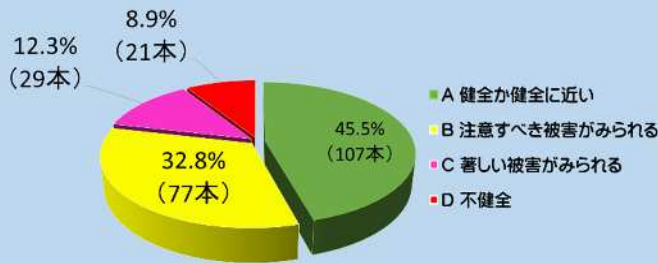
桜並木の将来像を検討、将来像実現に向けた今後の取り組み方を考えます。

保全・更新

危険木の更新(伐採・植替え)を行いながら、再生計画を基に保全を行います。

呑川本流緑道の桜の現状

樹木診断結果(234本)



樹勢が弱り樹形が崩れた桜

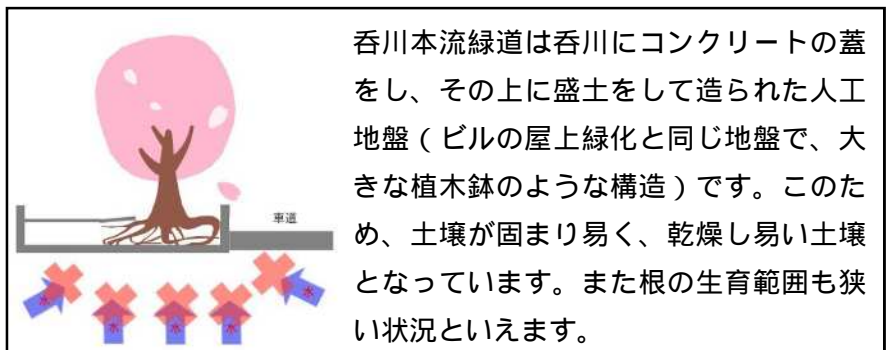


樹木を腐らせるきのこの発生

全体的に生育があまり良くなく、樹勢が低下した桜が見られます。樹木の腐朽により倒木・枝折れ等の危険があり、何らかの措置が必要な桜も全体の 21.2% (50 本) 見られました。その内 5 本は既に伐採を行っています。

桜の課題

- ・ 植栽基盤の不足
(土壌が少なく乾燥しやすい)
- ・ 桜の老齢化
- ・ 腐朽菌による材の腐朽・空洞の発生
- ・ 危険木の植え替えが必要



呑川本流緑道は呑川にコンクリートの蓋をし、その上に盛土をして造られた人工地盤(ビルの屋上緑化と同じ地盤で、大きな植木鉢のような構造)です。このため、土壌が固まりやすく、乾燥し易い土壌となっています。また根の生育範囲も狭い状況といえます。

今後の方向性

- ・ 保全対策の検討
土壌改良、施肥、剪定、水やり等の方法を検討
- ・ 更新方法の検討
危険木の伐採
小型の品種や多様な品種での植え替えの検討
樹木の配置方法の検討
- ・ 住民参加による桜保全活動の検討

第一回検討会の主な意見

- ・ 自分の意見が反映されているということが実感できるようにしてほしい
- ・ 呑川柿の木坂支流緑道はいろいろな種類の桜や樹木が植えられていて非常に良い。
- ・ 全体的な景観を考慮して計画してもらいたい。
- ・ 伐採や剪定をするときには周知してほしい。

目黒の桜基金にご協力をお願いします
桜基金はふるさと目黒の桜のある風景を後世に伝えるための基金です。
公園等の桜の保護・植替えなどに活用しています。詳しくは目黒区ホームページをご覧くださいか、
みどりと公園課までお問い合わせください
<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/zaisei/kifu/kikin/sakurakin.html>

